

## 第5回 部会検討結果報告書（都市基盤・産業部会）

記録者	神戸 悟	場所	市役所北庁舎第1・2・3会議室		
開催日時・場所	平成28年9月24日(土) 午前10時00分 ~ 12時				
出席者 (9名)	川口 克巳	草郷 亜実	中村 圭佑	藤井 麻由美	
	向井 佐知子	山田 和夫	神戸 悟	斉藤 寛人	
	山田 あずさ				
傍聴者	0名				

### 基本施策名 4 - 4 社会基盤の整備

ア・イで不足していることなど

- 「府中まちなかきららについて、清掃用品の貸与や保険などはどうなっているのか。」
- 「府中まちなかきららは、府中市の道路と公園のボランティア清掃が対象で、市内在住・在勤・在学などの個人及び団体に登録することができます。登録は短期と長期があり、長期の登録者・団体については、保険があります。登録者のボランティア活動は無償ですが、清掃用品については、市で貸与しています。市の公園・道路を市民と協働で管理していくという仕組みとなっています。」
- 「(イ)の残された課題のところの『府中まちなかきららが市道路・市公園の対象であるため、市民のボランティア活動範囲と齟齬が生じることがある。』とは、具体的にどういうことを指しているのか。」
- 「府中まちなかきららの対象範囲は市で管理する公園・道路に限られているので、それ以外の場所(例えば国道、都道・都の公園、民地など)は対象範囲外となってしまう、市民は清掃の際に、そういう部分を意識せず行うので対象がずれてしまうということです。」
- 「狭あい道路解消についての取組の進捗状況はどうなっているか。」
- 「府中市ホームページの施策評価シートによると、平成27年度時点で、市内の狭あい道路の割合が9.5%となっています。」
- 「無電柱化することでコストが抑えられるのか。」
- 「無電柱化については、コストを抑えるという観点より、景観の改善やバリアフリーという観点により実施しているという面が強くなっています。現在、ラグビーワールドカップと東京オリンピック・パラリンピックに関連して、多磨駅周辺の道路で無電柱化工事を行っています。」
- 「(イ)の『老朽化対策工事について、平成29年度の目標値に対し平成27年度末での進捗率が66%となっており、引き続き管更生工事など老朽化対策事業を推進する。』とあるが、これはどのような老朽化対策なのか。」
- 「これは下水道管きよの老朽化対策工事のことで、下水道管きよの標準耐用年数が一般的に50年と言われているので、市内の下水道管きよのうち、破損事故などの予防保全として、既存の管きよの内側に新たな管きよを構築する工事を行っています。」

「ゲリラ豪雨などで冠水しやすい場所とはどこのことか。」

「南武線のアンダーパスや調布市の行政境にあるスタジアム通りなどの路線を注意しています。」

「調布市の行政境の道路について、整備する際に協議などは行っているのか。」

「先日も行政境の道路の工事についての協議を行いました。今後も協議のうえ、整備を進めていく予定です。」

今後（後期期間で）予想される新たなニーズ・課題（ウ）について

「新たなニーズ・課題として以下のものがあると思う。」

- ・ 台風やゲリラ豪雨の冠水対策として、雨水枴が詰まらないよう落葉清掃の推進が必要。
- ・ 外国人訪問客のために案内標識等の外国語化が必要。
- ・ 高齢化社会を迎えることでボランティアの方法などの工夫が必要。
- ・ インフラ管理のコストマネジメントが必要。
- ・ 落葉や草取りなどのボランティア清掃活動について、参加しやすい市民協働の仕組み作りが必要。」

「道路の管理などの連絡窓口が道路の管理者ごとに異なっているため、連絡しにくいので、市ホームページで分かりやすく案内してほしい。」

「市の道路については、管理課、公園が公園緑地課、都道については東京都、国道は国と管理者によって連絡先が異なっています。」

「清掃などについては、ボランティア専用の窓口があれば良い。」

「現状、市に維持管理の専用窓口はないため、各職員が市民からの問合せを受けた際に、問合せ内容を聞き取り、聞き取った職員が各管理の担当に連絡するワンストップでの対応を心掛けて、市民がたらい回しされないようにする必要がある。」

「今後30年以内に震度6クラスの地震が起きる可能性が高いと言われており、地震が起こることを前提とした対応が必要になると思う。」

「道路占用物について、今日ここに来る際に古くなって壊れたものや文字の消えてしまった立て看板がいくつかあった。台風時に壊れそうな、このようなものの維持管理や撤去について、市民がスマートフォンなどで写真を撮って通報して、市が対応できれば良いと思う。」

「道路上の危険な立て看板についての通報は管理課で受け付けていますが、窓口が市民にまだまだ浸透していない部分があるかもしれません。」

「市ホームページだけでなく、ケーブルテレビやちゅうバス内に掲示するなど様々な媒介で市の情報を伝えていく必要がある。」

↓ 上記の議論を経て、以下の課題を追加することになりました。

- ・ **道路の維持管理やボランティアの窓口を一本化することで利便性の向上を図る必要性がある。**
- ・ **地震や台風、急激な気象変化に伴う対策の必要性がある。**
- ・ **市の道路維持管理状況やボランティアの情報などを様々な媒介で周知していく必要性がある。**
- ・ **外国人や高齢者などに対するのバリアフリー対策が必要である。**

## 後期基本計画策定に向けた見直しの論点（H30～33年度）（エ）について

- ・ 高齢化を意識した施策を推進する。
- ・ 外国人の市民、訪問客の増加を見据えた施策を推進する。
- ・ 立て看板の維持管理について、学生などに協力してもらおう。（写真を撮って送ってもらう。）
- ・ 府中まちなかきららについての情報発信を更にわかりやすく周知する。
- ・ 市ホームページにおいて、情報を縦割りでなく、道路のことなどについては、まとめて見られるような作りにする。
- ・ 無電柱化事業と並行して、バリアフリーを推進する。
- ・ 道路保全についての窓口を一本化して分かりやすくする。
- ・ 地震や気象変化を念頭に置いた道路の維持管理を行う。
- ・ 府中まちなかきららの有償化の検討（参加率が低ければ報奨金のようなかたちで）。
- ・ 道路の切り下げの徹底（切り下げしていない部分からブロックを積んで出入りしている場所があるため）。
- ・ グリーンバードのような若者が参加したくなるようなボランティア制度（制服などが洒落ていることで参加を促す）。
- ・ 府中まちなかきららのPRを、雨水対策の落葉清掃などの目的別と、具体例について推進する。
- ・ 府中まちなかきららの啓発活動・情報提供（浅井委員からの意見）
- ・ 府中まちなかきららの広報を強化する。
- ・ 気象変化による台風、大雨、雷、強風への対策。
- ・ 大地震が起こることを前提とした施策の推進。
- ・ 府中まちなかきららの活動対象範囲を広げる（都・国と調整を行う）。
- ・ ボランティアに対応したワンストップで受けられる窓口の検討。
- ・ 外国人と協働したマネジメント及び情報周知の徹底。
- ・ ラグビーワールドカップ・オリンピックパラリンピックを見据えた競技場周辺の道路整備（無電柱化、バリアフリーなど）
- ・ 道路維持等の問合せ時のワンストップでの対応。  
上記の提案を整理し、次の提案を行います。
- ・ 道路管理やボランティアに関する情報について、様々な媒介で市民に分かりやすく伝わるよう提供する。
- ・ 外国人や高齢者、障がい者などのバリアフリー対応を実施する（道路の段差解消だけでなく、道路標識の多言語化なども含む）。
- ・ 府中まちなかきららにより多くの様々な人が参加できるようPR活動の強化と見直しを行う（対象範囲を広げる、高齢者・若者が参加しやすい仕組みの検討）。
- ・ 地震や台風などの急激な気象変化を念頭に置いた道路等の維持管理体制の構築。
- ・ 道路維持管理やボランティアについての窓口の一本化の検討、ワンストップでの対応の徹底。

## 協働の実践に向けて（オ）について

- ・ 外国人住民のボランティア参加を促す。
- ・ 街路樹植替について、アダプト制度を検討する（市民の樹を街路樹として植える）

代わりに管理してもらう)。

- ・ 位置情報システムを使って道路維持管理について、市民から通報してもらう(古い看板などの情報をスマートフォンなどで写真を撮って送れるようにする)。
- ・ 市でグリーンデイなどとイベントを年に何回か設けて、清掃活動を促す。
- ・ 市民ボランティアの積極的活用。若者が課外活動の場として参加したくなるような、ボランティアの登録者の交流会を実施する。
- ・ 外国人・障がい者・高齢者にインフラについて、まち歩きや意見交換を行うことで意見を聴取し、バリアフリー事業の見直しを行う。
- ・ 下水道の老朽化の問題と対策について、市民に周知する。
- ・ 市ホームページについて、「病気」でなく「症状」で探せるようにする(困っている内容や知りたい内容から探せるようにする)。
- ・ イベントについて、行政の伝えたい情報をパネル展示するだけでなく、ワークショップ、ゲーム、アンケートなどの参加型イベントを実施する。
- ・ 市の情報やボランティア情報の周知について、市民活動センターと連携する。周知方法についてのワークショップを行う。
- ・ 府中まちなかきさららについて、短期登録であっても毎年継続して参加できるような仕組みづくり。
- ・ イベントで府中まちなかきさららをPRする(浅井委員からの意見)。
- ・ 道路工事などの整備状況を市ホームページで公開する。  
上記の提案を整理し、次の提案を行います。
- ・ 府中まちなかきさららの情報提供、PRの強化(広報紙やホームページなど様々な媒介や市民参加型イベントの開催)。
- ・ 市民団体・外国人の市民・市民センターと連携したボランティア活動の促進。
- ・ 道路維持管理に関して、市民が通報しやすい体制の充実(位置情報システムなどを利用する)。

#### 第6回の発表に向けてのヒアリング

「第6回の発表に先立ち、各委員の方にこれまで議論した内容についてのヒアリングと発表内容についての意見をお伺いしたい。発表時間は4分間ということで、これまでに提案してもらった内容を精査し、まとめても施策ごとに話をしていたら到底時間が足りない。分野全体の主な課題を出して、見直しの論点を組み込みながらその対策を出していくかたちになると思うが、ある程度は内容の取舍選択を行う必要がある。内容について、細かい部分はある程度任せてもらって、このテーマは是非入れてほしいというようなものがあれば提案してほしい。まずシェアオフィスとはどのようなものを指しているのか聞きたい。

「シェアオフィスとは、創業者支援として事務所などの場所を貸与する制度のことを指しています。」

「シェアオフィスには、空き店舗を活用するとのことだが、これには空家も含まれるのか。」

「空家についても、そのままの形ではないが、使うことも想定していると思う。」

「イノベーションという用語はどのようなことを指しているのか。」

「今行っている業態などと異なる業態に変化する考え方というような意味です。」

「全体的なテーマとしては、地震対策などの防災関連や少子高齢化、オリンピックパ

「オリンピックに伴う外国人への対応をテーマとして取り上げたい。」

「防災関連については、別の部会の担当となっており、当部会は都市基盤・産業部会なので、その分野での防災関連ということで話すのが良いと思う。」

「前期計画から異なってきた課題としては、オリンピック・パラリンピック及びそれに伴う外国人への対応などがあると思う。それに加えて、高齢化対策や若い人の力を活用することも求められていることであると思うので、それらの着眼点を組み入れてほしい。」

「協働において、若い人の力は欠くことが出来ないと思う。」

「防災関連を含む安全・安心の分野と産業の分野を分けて話をしてはどうだろうか。」

「市政やボランティアなどに若い人が関わり、そのまま市に長く残ってもらうことが必要なので、そのようにするための内容を組み込んでほしい。」

「若い人がボランティアなどを通じて府中市を知ってもらえればよいのではないか。」

「今回の見直しでは、協働が大きなテーマとなっているので、(ウ)の課題より(エ)や(オ)の比重を大きくしたほうが良いのではないか。」

「様々な市民(高齢者・若者、外国人等)の参加が全体を通してのテーマでないか。」

「どの施策においても市からの情報発信を強化する必要があるとの議論があったが、その発信を通じて、市民参加を推進するというのが大きなテーマであると思う。」

「いまのところ、安全安心、都市基盤の前提としての防災、少子高齢化、若者の社会参加などが主たる意見となっているが、他にはないですか。」

「産業についての施策について、大変多くの意見が出ていたので、産業と安全安心を2つの柱として提案すればよいのではないか。さらに産業については、産業振興と観光の2つの分野があると思う。」

「総合計画の後期期間は2018～2022年でオリンピック・パラリンピックは外せない内容になると思うので、オリンピック・パラリンピック関連と少子高齢化、安全安心の3つの内容が重要であると思う。」

「皆さんの意見を参考に3～4分の内容で原稿を作ってもらって、次回の準備までに皆さんに送ってもらって意見を再度反映させるという方法でどうでしょうか。」

「基本的に安全安心、少子高齢化、産業を3つのテーマとして、オリンピック・パラリンピックについて絡めた内容で原稿を作ってみる。」